

安全データシート

作成日2009年 3月 16日
改訂日2025年 4月 1日

1. 製品及び会社情報

製品の名称:
会社名:
住所:
電話番号:
FAX番号:
メールアドレス:
推奨用途:
使用上の制限:

クラウン 480
ナショナル貿易株式会社
兵庫県明石市魚住町清水2 3 7 8 - 3
078-941-9341
078-941-8105
gyomu@ntc-jp.com
金属塑性加工用潤滑剤
推奨用途に限る

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS区分に該当しない。

ラベル要素
絵表示又はシンボル:

表示なし

注意喚起語:
注意書き:
国・地域情報:

注意喚起語なし
注意書きなし
情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:
化学名又は一般名:
成分及び濃度又は濃度範囲:

混合物
金属塑性加工用潤滑剤

成分名	濃度又は濃度範囲:
鉱油	80～90%

※成分の含有量について企業秘密であるものは範囲で記載。

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合:

皮膚を速やかに洗浄すること。水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	粉末消火剤、一般の消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤:	棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気をよくして処理する。
環境に対する注意事項:	流出した製品が河川に排出され環境に影響を起こさないように留意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収させて密閉できる空容器に回収して適切に処理する。 多量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	火気厳禁。静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
局所排気・全体換気:	局所排気装置の設置、あるいは全体換気を適正に行う。
注意事項:	保護眼鏡、不浸透性の保護衣、保護手袋または覆物等の適切な保護具を着用して、眼及び皮膚への接触を避け、またミスト・蒸気を吸入しないようにする。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
保管条件:	高温、火花、裸火のような着火源から離して保管する。 ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は容器を密栓して保管する。 直射日光や雨を避け、涼しく換気のよいところで施錠して保管する。
容器包装材料:	製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等:	
【鉱油の情報】	
管理濃度:	設定されていない。
濃度基準値:	設定されていない。
許容濃度:	
日本産業衛生学会(2024年版)	3 mg/m ³ (鉱油ミストとして)
ACGIH(2021年版)	TLV-TWA 5mg/m ³ (I) (鉱油ミストとして)
設備対策:	取り扱う場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。 蒸気またはミストが発生する場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具:	ミストを吸入する恐れがある場合は、防じんマスクを着用する。
手の保護具:	接触する場合には、不浸透性の保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具:	眼に入る恐れがある場合には、状況に応じて保護眼鏡(普通型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具:	接触する場合には、不浸透性の保護衣等を使用する。
特別な注意事項:	取扱い後はよく手を洗う。

濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態／色:	褐色液体
臭い:	データなし
融点／凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	あり
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界:	データなし
引火点:	200℃以上
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	該当せず
動粘性率:	63 (mm ² /s, 40℃)
溶解度:	水と任意に混和せず。有機溶媒データなし。
n-オクタノール／水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び／又は相対密度:	0.92 (g/cm ³ , 15℃)
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。
化学的安定性:	一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性:	情報なし
避けるべき条件:	高温、火花、裸火、混触危険物質との接触。
混触危険物質:	強酸化剤。
危険有害な分解生成物:	燃焼の際は一酸化炭素、二酸化炭素等。

11. 有害性情報

本製品のGHS分類に際し、含有成分の有害性情報より推定した。

急性毒性(経口):	分類できない
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(吸入: 気体):	分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気):	分類できない
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト):	分類できない
皮膚腐食性・刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:	分類できない
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	分類できない
誤えん有害性:	分類できない
その他の情報:	皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。 飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

12. 環境影響情報

本製品のGHS分類に際し、含有成分の有害性情報より推定した。

生態毒性:	
水生環境有害性－短期(急性):	分類できない
水生環境有害性－長期(慢性):	分類できない
残留性・分解性:	製品としての情報なし。
生体蓄積性:	製品としての情報なし。
土壤中の移動性:	製品としての情報なし。
オゾン層への有害性:	製品としての情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	残余廃棄物は事業者自身が処理するか、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	国連分類基準に該当しない。
品名:	国連分類基準に該当しない。
国連分類:	国連分類基準に該当しない。
容器等級:	国連分類基準に該当しない。
国内規制	
陸上規制情報:	消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。
海上規制情報:	船舶安全法 非危険物
航空規制情報:	航空法 非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法):	非該当
労働安全衛生法:	通知・表示対象物質 鉱油 がん原生物質 非該当 皮膚等障害化学物質 非該当 特定化学物質障害予防規則 非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
消防法:	危険物第4類第四石油類
船舶安全法:	非危険物
航空法:	非危険物
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:	産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

記載内容は本データシートの作成時または改訂時において当社が入手できた資料、情報やデータに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

引用文献: JIS Z7253:2019